

中間現地検討会の果たす役割

植調東北支部の事務局が東北農試にあった当時から「東北地域の水稲除草剤中間現地検討会」を毎年1回、6月に実施してきた。もう20年以上も続いている。さらに、昭和54年から畑作関係についても、水稲と別個に開催している。いまでは、参加者が水稲関係100名余、畑作関係は70名台になり、毎年減ることがなく、バスにより1泊2日の日程で実施している。

さて、このように長く続けているとマンネリ化するのではないかと、出席者の意向をたしかめてみると、おおよそ二つに集約される。それは、はっきりした効果として表現しにくい、一つは、農試や実験展示圃の現場を通じて、秋の成績検討会までの中間段階での経過を知るとともに、お互いの情報交換ができることである。二つは、開発・試験研究・普及のそれぞれの立場からみて、自分のやっていることに対する確認とともに、現在の技術・農薬の水準、方向を知ることができる等である。その他、他地域における優占雑草や新雑草の生態の確認などがあげられる。また、共通の連帯意識が生まれ育つともいう。このような話しは、主催者に対する激励の意味も含めてのことだろうが、勇気づけられるものがある。

この中間現地検討会は、東北支部とすれば年間行事のうちでは大きいものであり、出席者の反応に支えられるとともに、開催地の絶大な協力を得て、ことしもこれを実施しようと心を新たにしている。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 東北支部長 藤巻 竹千代〕

目 次 (第16巻第12号)

東北地方における冷害時の除草剤使用について……………	2
＜宮城県古川農業試験場 高橋周寿＞	
は じ め に……………	2
1. 東北における55、56年の冷害…………	2
1) 冷害、冷害型について…………	2
2) 気象の変化と稲生育…………	3
2. 東北地方における主要雑草…………	4
3. 東北における冷害年(55、56年)の除草剤利用状況…………	4
1) 水田除草剤の普及率…………	4
2) 除草剤別利用状況…………	5
3) 冷害年の雑草発生产長と除草効果…………	5
む す び……………	8

昭和57年度水稲作関係除草剤試験成績概要……………	8
---------------------------	---

＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	
第1表 適1試験成績判定結果一覧表……………	9
第2表 適2試験結果判定一覧表……………	11
第3表 適2使用基準一覧表……………	13

新登録除草剤一覧……………	35
新登録生育調節剤一覧……………	36
＜農林水産省農蚕園芸局植物防疫課＞	

本誌掲載原稿の募集

本誌を愛読されている皆様より、原稿を募集しておりますので、ご寄稿下さい。内容は、除草剤、生育調節剤に関する記事であればよく、400字詰原稿用紙で20～30枚位、図・写真の挿入も可。原稿料は、当協会の規程によりお支払いいたします。